

TOMMASINI SINTESI

¥283,500
(フレームセット)

古き良き時代を伝える芸術品



トマジーニ シンテシー

細身のトップチューブ、凝った造形のラグ、メッキされたチェーンステアなど、イタリアンハンドメイドバイクらしい意匠が随所に与えられたモデル。カラーオーダー、スケルトンオーダーが可能。
問合せ＝アクションスポーツ

☎048-258-7811 www.actionsports.co.jp

[Spec]

FRAME & SIZE / COLUMBUS NEURON 49、51、53、55cm (車体カラー 16EBの場合)
COMPONENT / N/A
TIRE / N/A

Frame



チューブはニヴアクローム素材のコロンバス・ニューロンを採用。

Frame End



リアエンドはラグを用いた仕上げを採用。ロゴ入り。

Head Tube



イタリアンカットラグを用いた美しいヘッド周り。

Fork



ショルダー部分に芸術的なエッチングが施されたフォーク。

路面に吸い付くような走りは、快適ではあるけど刺激的ではないし、アドレナリンをドバドバと出しながら無我夢中でペダリングをしている自分が滑稽にすら思えてくる。

前回の試乗から約1年。残念ながら煩惱が多すぎる筆者には、まだシンテシーが似合うとは思えない。それは齢だけの問題ではなく、「速く走るのもうやり尽くした」と思える瞬間を経験することが重要なのかも、と思った42歳の冬であった。

「遠く走りたい、という欲求が強い人は、残念ながらシンテシーを所有することは諦めた方がよい。いや、表現が不適切か。「先送りした方がよい」と言っておこう。

パイプのセレクトや装飾的なラグの仕上げもできることながら、マスキングでロゴを入れて仕上げているあたりは塗装工程まで自社工場内でまかなっているから、その可能性はこだわりといえる。

そして今回再びシンテシーに乗る機会が訪れたのだが、久しぶりに対面したトマジーニのバイクは相変わらず美しく、まるで気品溢れる女性のように見る者を魅了する。もし彼女に瞳があつたら、吸い込まれてしまふところだろう。

「トマジーニは、目でも楽しめるバイクである」「あと何年齢を重ねれば、コイツが似合うようになるだろう」。弊誌の試乗企画で、かつてこのシンテシーに乗ったとき、私はそのような原稿を書いた。